

つまだ もの た また もの い みずか あらわ もの あき  
企つ者は立たず、跨ぐ者は行かず。自ら見す者は明らかならず、  
みずか ぜ もの あら みずか ほ もの こう みずか ほこ  
自らは是とする者は彰われず。自ら伐むる者は功なく、自ら矜る  
もの ひさ みち お よしよくせいこう い ものある これ  
者は長しからず。その道に在けるや、余食贅行と曰う。物或いは之  
にく ゆえ みちあ もの お  
を悪む。故に道有る者は処らず。

【大体の意味内容】つま先立ちで背伸びする者は、長くは立ってられない。大股で歩く者は、  
とお ある つつ じぶん のうりよく み せけん ひようか  
遠くまで歩き続けることはできない。自分の能力を見せびらかそうとする者は、世間から評価  
されない。自分の考えや行動を正しいと思ひ込む者は、決して表彰されたりはしない。自分  
のしたことを鼻にかけて自慢する者は、まず成功しない。自分の才能を誇って尊大に構える者  
は、長続きしない。根源的な「道徳」の在り方においては、そのようなふるまいは、すべて余計  
な食べ物であり、贅肉のように不細工な行いである。誰もかれもがこれを嫌う。本来の道徳を  
身に修めた者は、そのような無様な下衆であるはずがない。

テニスの大坂なおみ選手が全米オープンで日本人初優勝を飾ったニュースが世界を駆け巡りました。いつも天然な受け答えをしている明るい彼女が、涙を流しながら、自分の喜びを抑えて、まるで叱られた少女のように、対戦相手のファンにお詫びしている弱弱しい姿や声が、とても印象的でした。

大リーグでは二刀流の大谷翔平選手が、日本人1年目としては最多のホームランを打ったというニュースもありました。彼もまた謙虚にふるまう選手として知られています。

特に大坂選手の場合、本当に何も計算せず正直にふるまっているのがよくわかります。対戦相手のセリーナ選手には、子供のころからあこがれていたとか。でもコートに立った瞬間からは「セリーナファン」ではなくプレイヤーとして「別の人間」になり、圧倒的勝利を収めてセリーナ選手からハグされたとたんに少女に戻ったそうです。「勝利した大坂なおみ」の喜びがふわふわ浮遊し、「敗北したセリーナ」をファンとして悲しむというたまたままい。

なんとも新鮮な気分になる風景でした。

あこがれて、純粋に努力する。頂点に達したときに、うれしいのか悲しいのかよく分からない、いや分かれていない感情があふれてくる。

いいものですね。美しいとはこういうものかな、と。